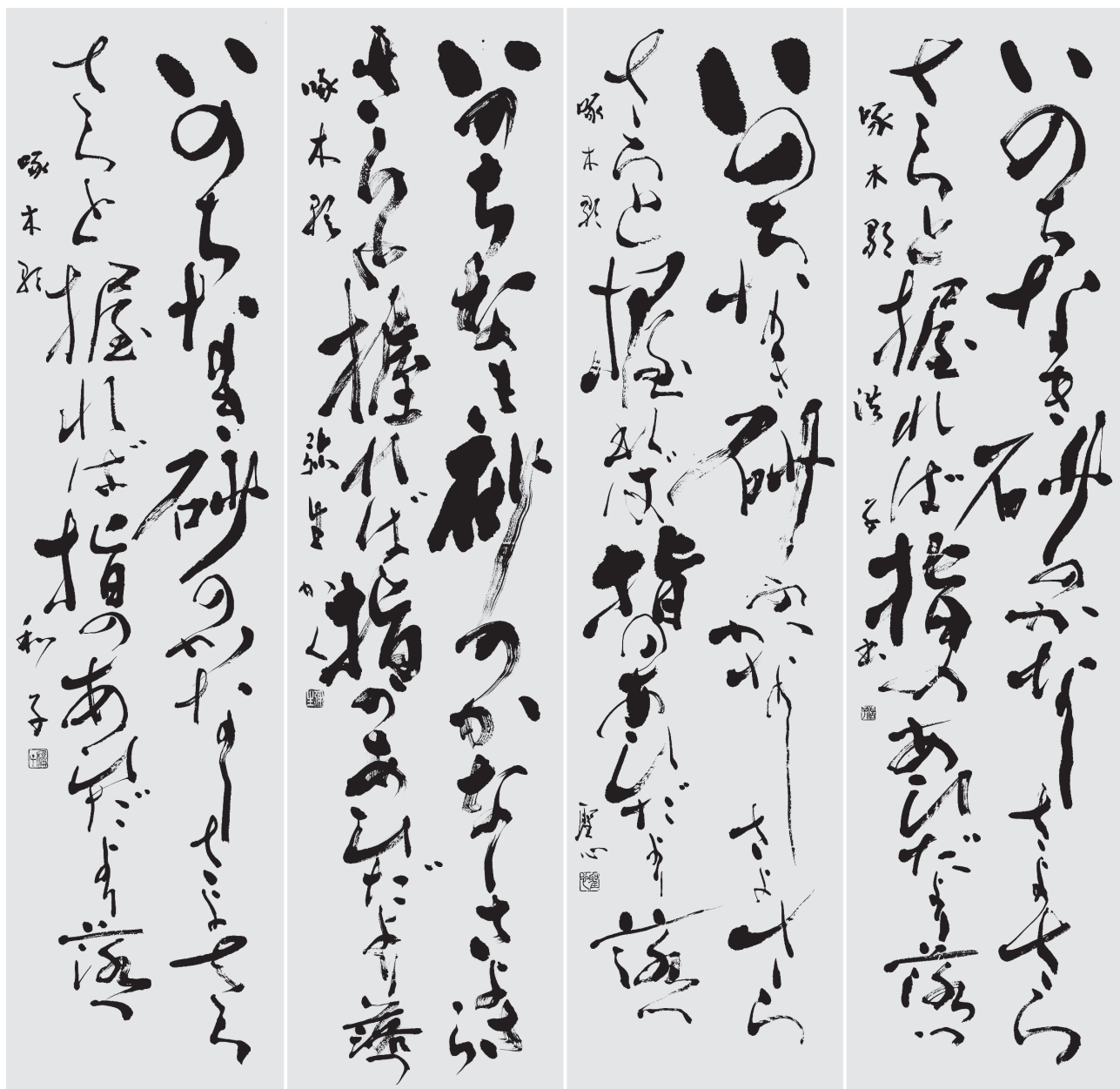


若林久美子先生選評

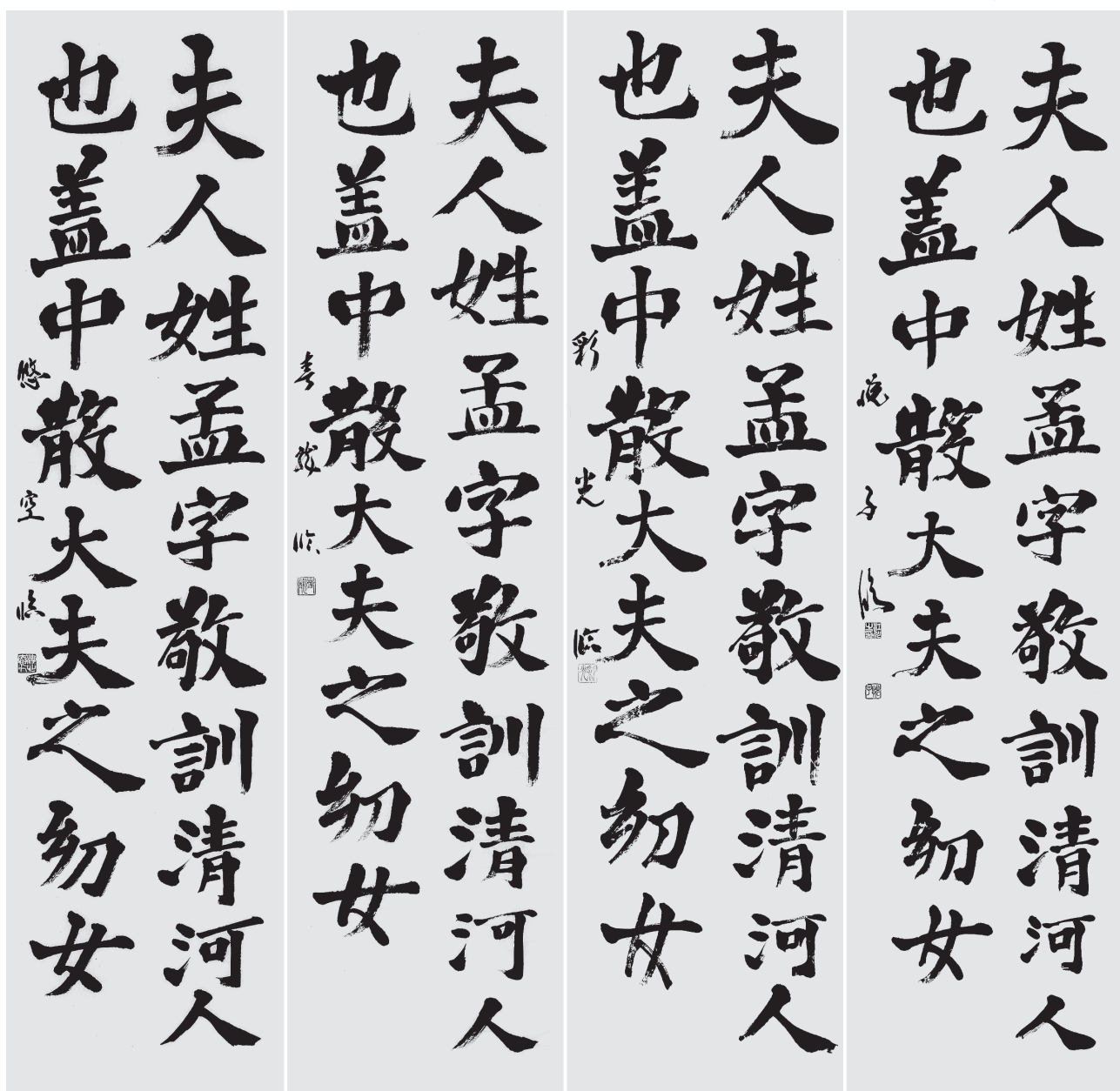


鈴木浩子 推選
暢びやかで豊かな線質。派
手さに頼らず、冷静沈着な
構えで気持ちにブレがなく
優しさに満ちている。気力
の充実した快作です。

松下聖心 推選
高い位置から俯瞰し大きな
動きで小字にまで心を配る
表現力は圧巻です。主役の
「砂」が見事に演じてくれ
ましたね。行間の動き、最
後の「落つ」も効果的です。

小淵彌生 推選
とにかく有無を言わせぬ迫
力に圧倒されます。が、勢
いの良さに隠れた繊細さも
あり、ふくよかな線と共に
見事です。各行ともに下部
の扱いに一考を。

山田和子 推選
優しくたおやかな作品。静
かな表現ながら紙面を掌握
した運筆で揺るぎない。書
き出し部分の気持ちの大き
さ、「指の」以降の纏め方
が見事です。



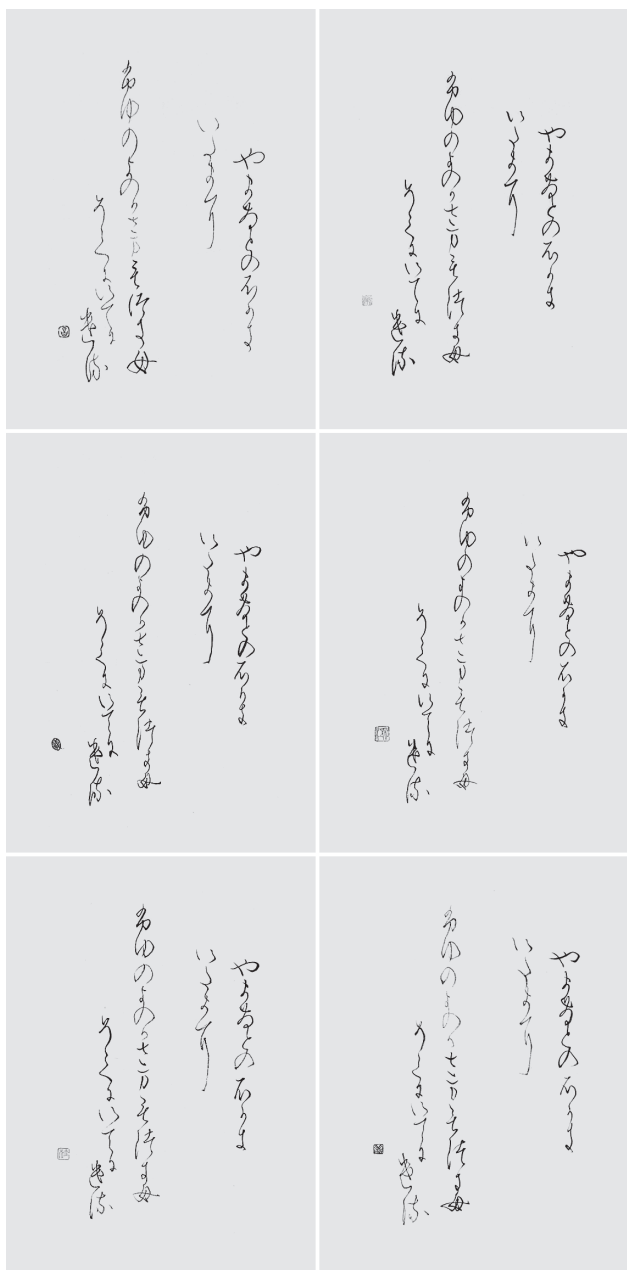
江川 悦子 推選
 一点一画に繊細な表現を心掛けていて、臨書への取り組み方が真摯であることが伝わってきます。特に起筆の角度、強さが忠実に表現されていて素晴らしい。

長谷川 彩光 推選
 緊張感と雄大な素朴さを混在させる表現で、適切に臨書されている。雄大感が前面にあるが、送筆の中にある細やかな動きによる線は、高い技術によるものです。

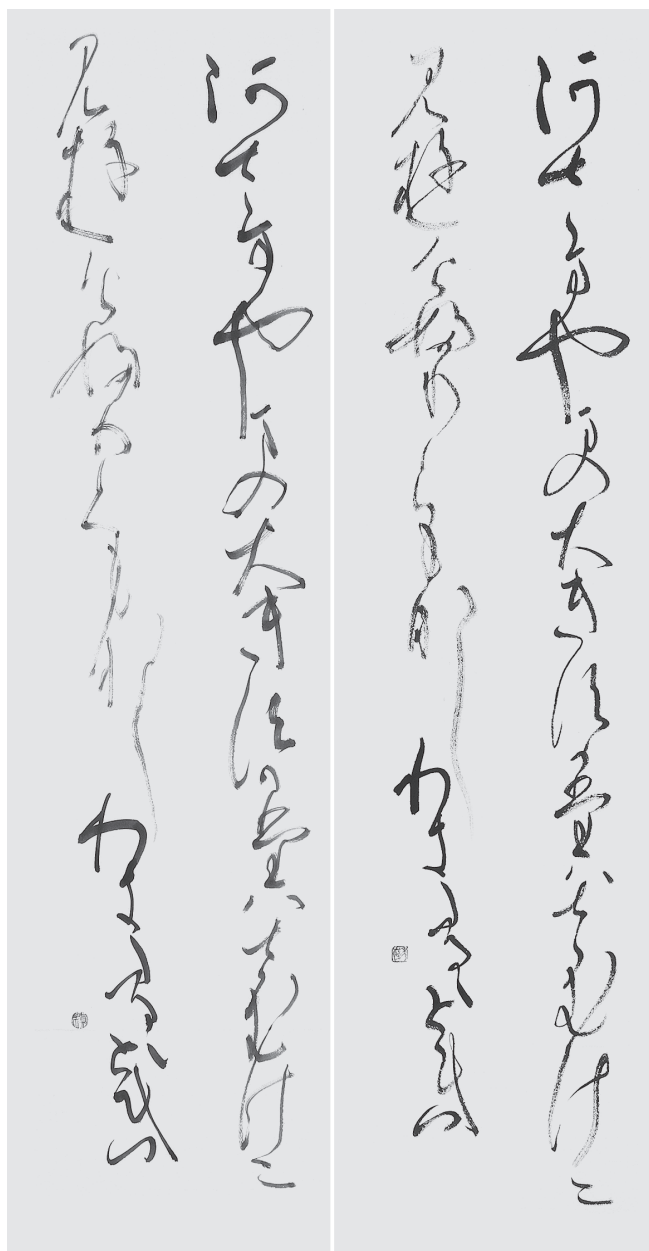
大久保 春龍 推選
 字内の空間を密にしていながらも、窮屈に見えない清澄な線は、この作品の輝きを増すことになっている。横画を引くときの腕の動きが軽快で正確なのでしょう。

堀 添悠空 推選
 原本の字形をよく研究されていると思います。横画の角度は正確であり統一されているので、作品全体に流れがあり、楷書作品の主張として正道を行っている。

白幡陽子先生選評



柏谷富美子先生選評



相良榮子 師範
濃い目の墨色引き
縮まった線条は、
古筆の形態をよく
捉えています。受
け継がれる文字の
連綿線に、更に抑
揚のリズムを加え
てより豊かな表情
に。

栗林和江 八段
素朴で澄んだ細線、
力まず流れました。
原帖に忠実で丁寧
な筆の運びですが
少し慎重すぎまし
た。筆管を支え緩
急を取り入れ生き
生きとした表情も
。

浅井舊来 七段
抑揚ある堂々の運
筆は、粗密、緩急
よく一見「小島」の
字形を習得してい
ますが、くい込み
深い受けの線、直
の連綿線、あと少
し取り入れましよ
う。

石塚昌子 準六
弾力ある伸びやか
な線条が旋律を奏
で、リズムから生
じる墨色潤渇が美
しい。少々文字が
大きくなりました
が要所の筆鋒きり
りと締めました。

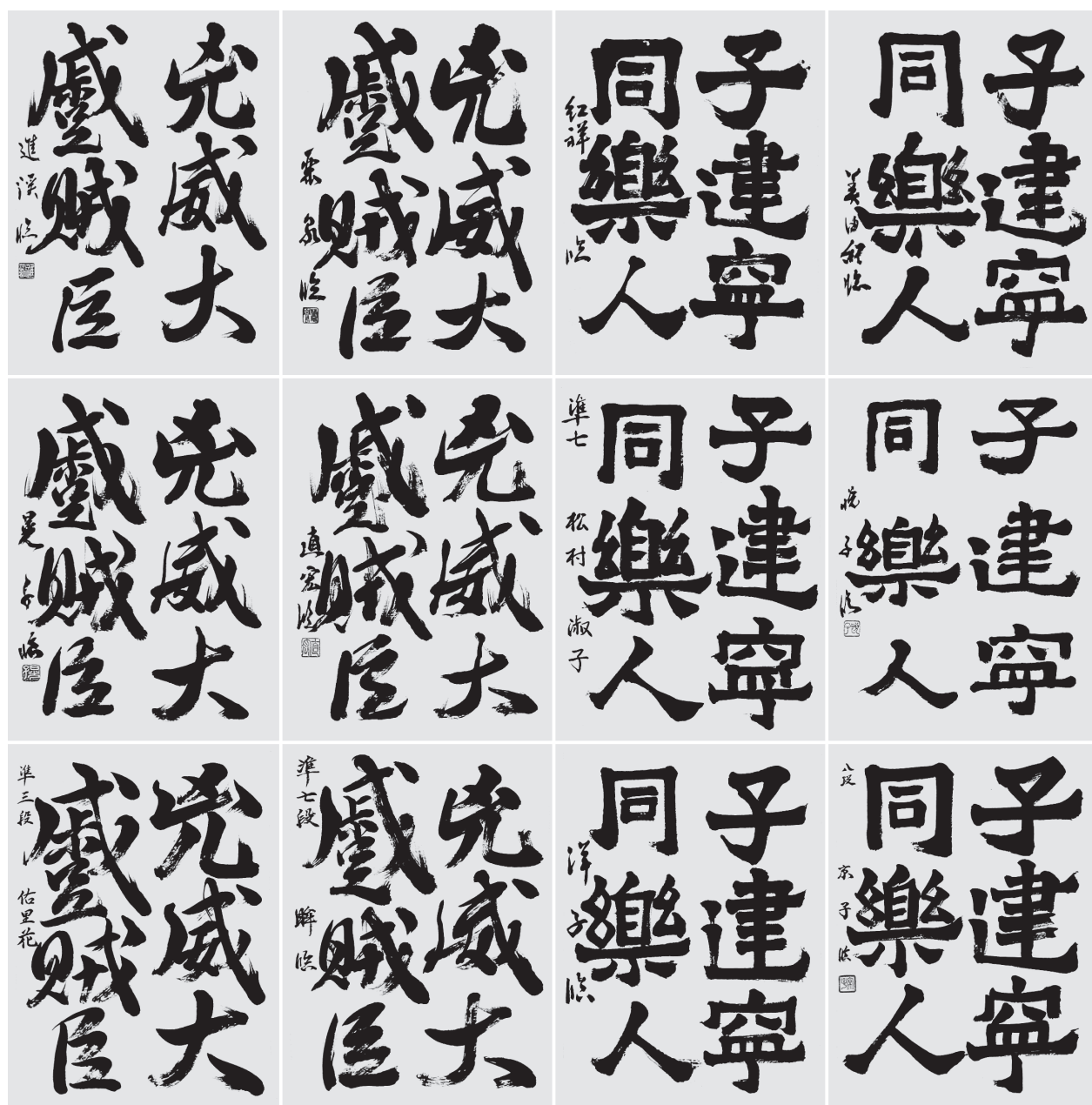
石田一義 準五
慎重な書き出しに
硬さが残りますが
ゆるぎのない運筆
は原帖の筆遣いを
濃やかに捉え、静
寂の中に凛とした
響きを放つ。

青木桂清 四段
大らかな運筆。緩
急ある筆の移ろい
澆潤とし明るい。
潤渇も自然な流れ
で生じ心地よく響
く。更なる練度で
墨継ぎ、繊細な流
麗さ、勁さを。

枝長真美 推選
墨色穏やかで、自然体の表
現に好感です。潤渇の行立
てのバランスがやや乱れま
した。それに少しの配慮を
加えると、更に魅力が増し
ます。

山本布美 推選
文字の懐大きく、迫力もあ
り表現力が秀でています。
墨色、配墨も正統的で、一
歩抜き出た作品となりました。

加藤有鄰先生選評



宇喜田美由紀師範
手首の返しが自然
で俯仰の法を得て
おり、柔らかく温
かな中に力強く運
筆されています。
修練の深さを感じ
ます。

伊藤紅祥 七段
大胆で構築性があ
り、力強い表現を
強調した感のする
臨書です。構えが
大きいためか作品
が明るく大きく見
えます。

野村麗泉 師範
運腕が大きく、流
麗である。特に筆
先の扱いが見事で
繊細さと大胆さ、
リズム感が心地良
く表現されており、
形体も確かで安定
している。

岸根進漢 六段
構えが大きく、筆
の穂先が確実に中
心を通っており明
るく、伸びやかで
強い表現を見せて
います。形体も確
実で豊かである。

江川悦子 師範
やや小ぶりながら
も、落筆高く、重
厚ながら温かみの
ある線を表現して
います。真面目な
臨書への取り組み
が窺われます。

松村淑子 準七
曇宝子の特徴を見
事に捉えて表現し
ています。重厚で
味わいある線質を
用い、悠然と確実
に運筆されており
ます。

有明直宏 七段
落筆が高く、遠勢
が効いており、ま
た直線的な表現を
うまく取り入れ、
顔真卿のもつ大い
なところを巧みに
表現しています。

富永晃子 準五
伸びやかで重厚な
筆致である。威風
堂々として表現し
ています。適度な
緊張感が作品全体
を引き締めており、
潤渇が美しい。

曾根亨子 八段
落筆高く鋭い起筆
からの運筆が見事
で、堂々たる臨書
です。不断の学習
の努力が見えてき
ます。落款は堂々
と書こう。

手塚洋子 三段
確実に丁寧な運筆
され、起筆は鋭く
入りながらも深く
豊かな線質をもつ
て構成されている。
形体も安定してお
り、表情が豊か。

松村 眸 準七
墨量豊かで、運筆
に迷いがなく、大
きな運腕から導か
れる大胆さと線の
明るさが、作品を
際立たせています。
この運筆力はあな
たの宝物です。

小野佑里花 準三
下位の段位ながら、
手首を返しての運
筆がスムーズで伸
びやか。また温か
みのある立体的な
線が魅力的です。
大いにこの良さを
伸ばしてください。